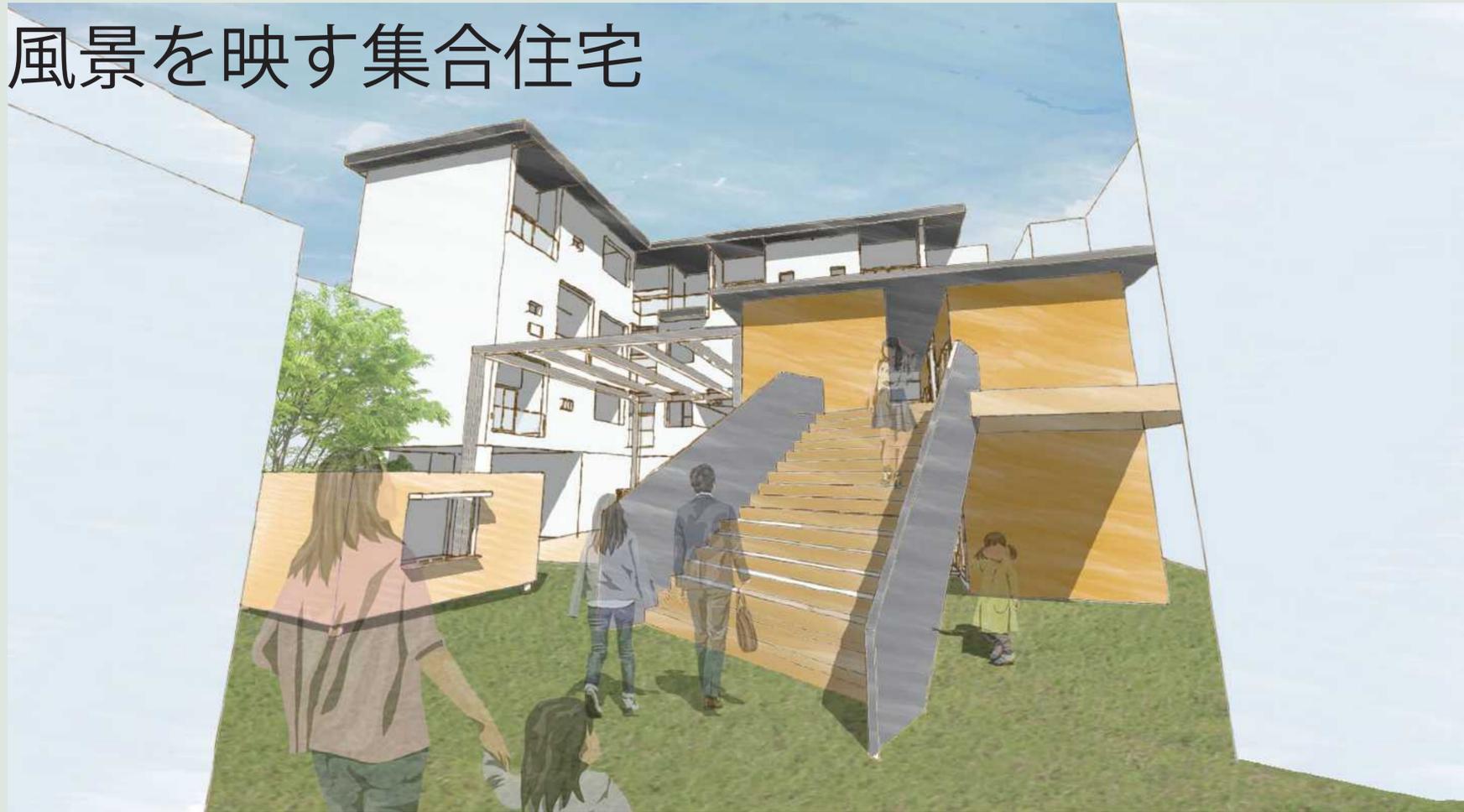
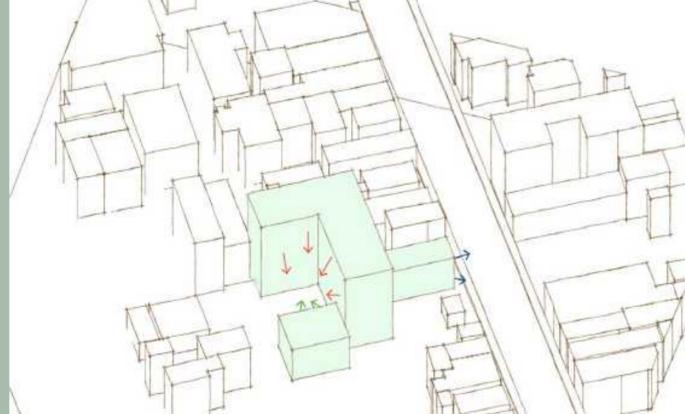


風景を映す集合住宅

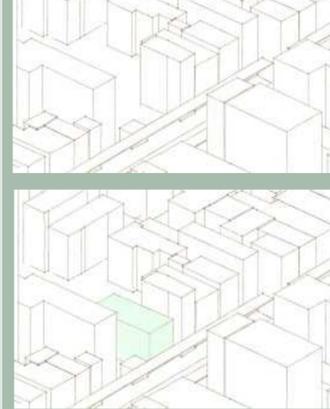


【風景を映す】



この計画地は閉鎖的な空間となっている。周囲を比較的高さのある建物に囲まれている影響で、影が多く寂しげな印象を与える。そんな敷地に様々な風景を与えることで賑やかさを与えることを計画した。生活の風景や、仕事の風景を映すことで、人の動きを感じ、この敷地の持つ閉鎖間をやわらげられるのではないかと考える。

【馴染み】



浅間通りには歩道にアーケードがある。そのアーケードに沿うようにして建物が並んでいる。計画地もまたアーケードに接している。しかし、現段階ではそこに建物などはない。そのため商店街にぽっかりと穴をつくってしまっている。その穴を生めるようにして仕事場を配置することで商店街の景観を整える。

【日影】



計画地の南側には 14 階にも及ぶ大きなマンションが既存する。このマンションが計画地に大きな影をつくる。特に計画地の南側は日影が続く。住居空間において自然光は無視できない要素であり、なるべく取り入れる必要がと考える。可能な限り日影を避けるようにして敷地北側に住戸を配置する。

